

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年10月20日(2016.10.20)

【公開番号】特開2016-13198(P2016-13198A)

【公開日】平成28年1月28日(2016.1.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-006

【出願番号】特願2014-135425(P2014-135425)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

A 6 1 F 13/472 (2006.01)

【F I】

A 4 1 B 13/02 G

A 4 1 B 13/02 S

A 6 1 F 13/18 3 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月30日(2016.8.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

互いに直交する縦方向および横方向と、前記縦方向に互いに対向する両端部および前記横方向に互いに対向する両側部とを有し、肌対向面を形成する透液性の表面シート層と、着衣対向面を形成する裏面シート層と、前記表面シート層の間に介在する体液吸収性の吸収体とを含むパッド状の吸収性物品であって、

前記表面シート層と前記裏面シート層と前記吸収体とのそれが前記縦方向への伸長性を有し、

前記表面シート層と前記裏面シート層とのうちの少なくとも一方のシート層の伸長性は弾性的伸長性であって、

前記一方のシート層は、前記吸収体を前記横方向へ横断していて弾性的伸長性を発現するための第1域と、前記縦方向における弾性的伸長性が前記第1域よりも低い第2域とを有し、

前記吸収体は、前記横方向へ延びる複数のスリットを有し、前記吸収性物品に対して互いに反対向きの前記縦方向への引っ張り力が加えられたときには前記スリットが拡開することによって前記縦方向への伸長性を発現し、

前記スリットの少なくとも一つと前記第1域とが重なり合った状態で配置されていることを特徴とする吸収性物品。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

前記一方のシート層が前記裏面シート層であって、

前記裏面シート層には、前記横方向へ延びる複数のプリーツが前記縦方向に互いに隣接することによってプリーツ群域を形成されている非伸長性の第1シートと、前記第1シート

トと前記吸収体との間にあって前記吸収体を横断するとともに前記プリーツ群域を縦断した状態で前記第1シートに接合している弾性的に伸長可能な第2シートとによって前記第1域が形成され、

前記裏面シート層には、前記プリーツ群域の各々が前記縦方向へ互いに離隔して並び、前記プリーツ群の各々の間に非伸長性の非プリーツ群域である前記第2域が形成され、

前記吸収体と前記裏面シート層とが互いに接合されている請求項1に記載の吸収性物品。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】

前記表面シート層が非伸長性の材料から形成されており、

前記表面シート層は、前記横方向へ延びる前記複数のスリットを有し、前記吸収性物品に対して互いに反対向きの前記縦方向への引っ張り力が加えられたときには前記スリットが拡開することによって前記縦方向への伸長性を発現し、

前記表面シート層の前記スリットの少なくとも一つと、前記吸収体の前記スリットとが重なるように配置されている請求項2に記載の吸収性物品。

【手続補正4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項5】

前記裏面シート層の前記第2域には、前記吸収性物品の着衣に対する止着域が設けられている請求項2-4のいずれかに記載の吸収性物品。

【手続補正5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項6】

前記一方のシート層が、前記第1域と前記第2域とを有する伸縮性纖維不織布の前記表面シート層であり、

前記吸収体と前記表面シート層とが互いに接合されている請求項1に記載の吸収性物品。

【手続補正6】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項7】

前記表面シート層及び前記裏面シート層が前記第1域と前記第2域とをそれぞれ有し、前記吸収体の前記スリットの少なくとも一つと、前記表面シート層の前記第1域と、前記裏面シート層の前記第1域とが重なるように配置されている請求項2又は5に記載の吸収性物品。

【手続補正7】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 8】

前記吸收性物品は、前記横方向の寸法 25.0 mmあたりについて 700 mN の伸長力を前記縦方向に作用させたときの伸長率が少なくとも 1.03 ~ 1.10 倍である請求項 1 - 6 のいずれかに記載の吸收性物品。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 9】

前記吸收体は、前記横方向の両側に前記縦方向へ延びる側縁を有し、前記横方向の中央に中央スリットを有し、前記中央スリットの前記横方向の少なくともいずれか一方で前記縦方向へ連続して前記中央スリットは前記側縁にまで届くことがなく、

前記吸收体は、前記中央スリットを少なくとも 2 つ有する請求項 1 - 8 のいずれかに記載の吸收性物品。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 10】

前記横方向における寸法を二等分して前記縦方向へ延びる中央線を有し、

前記吸收体は、前記横方向の両側に前記縦方向へ延びる側縁を有し、前記側縁から前記中央線へ向けて前記横方向へ延びる側縁スリットを両側縁に有し、前記側縁スリットの前記中央線に近接する側で前記縦方向へ連続して前記側縁スリットは前記中央線にまで届くことがなく、

前記吸收体は、前記側縁スリットを少なくとも 2 つ有する請求項 1 - 8 のいずれかに記載の吸收性物品。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、上記吸收性物品において、前記表面シート層と前記裏面シート層と前記吸收体とのそれぞれが前記縦方向への伸長性を有し、前記表面シート層と前記裏面シート層とのうちの少なくとも一方のシート層の伸長性は弾性的伸長性であって、前記一方のシート層は、前記吸收体を前記横方向へ横断していて弾性的伸長性を発現するための第 1 域と、前記縦方向における弾性的な伸長性が前記第 1 域よりも低い第 2 域とを有し、前記吸收体は、前記横方向へ延びる複数のスリットを有し、前記吸收性物品に対して互いに反対向きの前記縦方向への引っ張り力が加えられたときには前記スリットが拡開することによって前記縦方向への伸長性を発現し、前記スリットの少なくとも一つと前記第 1 域とが重なり合った状態で配置されている。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

以上に記載した本発明に関する開示は、少なくとも下記事項に整理することができる。

本発明は、互いに直交する縦方向および横方向と、前記縦方向に互いに対向する両端部および前記横方向に互いに対向する両側部とを有し、肌対向面を形成する透液性の表面シート層と、着衣対向面を形成する裏面シート層と、前記表面シート層と前記裏面シート層と前記吸収体とのそれぞれが前記縦方向への伸長性を有し、前記表面シート層と前記裏面シート層とのうちの少なくとも一方のシート層の伸長性は弾性的伸長性であって、前記一方のシート層は、前記吸収体を前記横方向へ横断していて弾性的伸長性を発現するための第1域と、前記縦方向における弾性的伸長性が前記第1域よりも低い第2域とを有し、前記吸収体は、前記横方向へ延びる複数のスリットを有し、前記吸収性物品に対して互いに反対向きの前記縦方向への引っ張り力が加えられたときには前記スリットが拡開することによって前記縦方向への伸長性を発現し、前記スリットの少なくとも一つと前記第1域とが重なり合った状態で配置されていることにある。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0042】

上記段落に開示した本発明は、少なくとも下記の実施の形態を含むことができる。該実施の形態は、分離して又は互いに組み合わせて採択することができる。

(1) 前記一方のシート層が前記裏面シート層であって、前記裏面シート層には、前記横方向へ延びる複数のプリーツが前記縦方向に互いに隣接することによってプリーツ群域を形成されている非伸長性の第1シートと、前記第1シートと前記吸収体との間にあって前記吸収体を横断するとともに前記プリーツ群域を縦断した状態で前記第1シートに接合している弾性的に伸長可能な第2シートとによって前記第1域が形成され、前記裏面シート層には、前記プリーツ群域の各々が前記縦方向へ互いに離隔して並び、前記プリーツ群の各々の間に非伸長性の非プリーツ群域である前記第2域が形成され、前記吸収体と前記裏面シート層とが互いに接合されている。

(2) 前記表面シート層が非伸長性の材料から形成されており、前記表面シート層は、前記横方向へ延びる前記複数のスリットを有し、前記吸収性物品に対して互いに反対向きの前記縦方向への引っ張り力が加えられたときには前記スリットが拡開することによって前記縦方向への伸長性を発現し、前記表面シート層の前記スリットの少なくとも一つと、前記吸収体の前記スリットとが重なるように配置されている。

(3) 前記第2シートが前記非プリーツ群域に接合されている。

(4) 前記裏面シート層の前記第2域には、前記吸収性物品の着衣に対する止着域が形成されている。

(5) 前記一方のシート層が、前記第1域と前記第2域とを有する伸縮性纖維不織布の前記表面シート層であり、前記吸収体と前記表面シート層とが互いに接合されている。

(6) 前記表面シート層及び前記裏面シート層が前記第1域と前記第2域とをそれぞれ有し、前記吸収体の前記スリットの少なくとも一つと、前記表面シート層の前記第1域と、前記裏面シート層の前記第1域とが重なるように配置されている。

(7) 前記吸収性物品は、前記横方向の寸法25.0mmあたりについて700mNの伸長力を前記縦方向に作用させたときの伸長率が少なくとも1.03~1.10倍である。

(8) 前記吸収体は、前記横方向の両側に前記縦方向へ延びる側縁を有し、前記横方向の中央に中央スリットを有し、前記中央スリットの前記横方向の少なくともいずれか一方で前記縦方向へ連続して前記中央スリットは前記側縁にまで届くことがなく、前記吸収体は、前記中央スリットを少なくとも2つ有する。

(9) 前記横方向における寸法を二等分して前記縦方向へ延びる中央線を有し、前記吸収

体は、前記横方向の両側に前記縦方向へ延びる側縁を有し、前記側縁から前記中央線へ向けて前記横方向へ延びる側縁スリットを両側縁に有し、前記側縁スリットの前記中央線に近接する側で前記縦方向へ連続して前記側縁スリットは前記中央線にまで届くことがなく、前記吸收体は、前記側縁スリットを少なくとも2つ有する。